

# 生きづらさを抱える 子どもたちのために

全国の児童生徒の自殺者数は令和4年に過去最多の514名となり、県内でもここ10年間でやや増加傾向となっています。また、子どもたちが抱えている悩みも複雑化し、一機関だけでは抱えることが難しくなっており、学校・行政・地域が連携しながら支援していく必要がある状況です。

そこで、「生きづらさを抱える子どもたちへの支援」をテーマに、子どもたちが困難を抱えた際に地域ができることは何かを考えるためのシンポジウムを開催します。

日時: 令和6年 3月22日(金) 13:00~16:30

会場: 山形ビッグウイング 2階交流サロン(山形市平久保100番地)

定員: 100名(事前申込が必要です)

対象: 行政関係者、民間支援団体職員、教育関係者 等

入場  
無料

~~~~~ プログラム ~~~~~

【第1部】 基調講演 13:15-14:45

「子ども・若者の生きづらさへの関わり

～ゲームによる家庭内不和から考える大人の課題～」

講師: 高橋 聡美氏 一般社団法人高橋聡美研究室代表



～プロフィール～

一般社団法人高橋聡美研究室代表  
中央大学人文科学研究所客員研究員  
BPO(放送倫理・番組向上機構)青少年委員  
前防衛医科大学学校精神看護学教授  
全国でSOSの出し方・受け止め方教育を行っている。  
著書『教師にできる自殺予防』など。

休憩 14:45-15:00

【第2部】 パネルディスカッション 15:00-16:30

「地域で子どもの自殺予防を考える」

コーディネーター 安保寛明氏(山形県立保健医療大学教授)

パネリスト 高橋聡美氏(一般社団法人高橋聡美研究室代表)

樋口愛子氏(NPO法人クローバーの会アットやまがた理事長)

町田真裕氏(天童市立第一中学校校長)

お問い合わせ

山形県健康福祉部地域福祉推進課  
地域福祉・人権擁護担当  
TEL: 023-630-2268  
FAX: 023-632-8176



事前申込は左のお申込みフォームから  
3月15日(金)までをお願いします。

主催 山形県